

英語科学習指導案

日 時 令和2年5月29日（金）公開授業 I
学 級 岩手大学教育学部附属中学校
3年B組34名
会 場 3年B組教室
授業者 山蔭 理恵

1 単元名 Lesson 4 The Story of Sadako (NEW CROWN ENGLISH SERIES New Edition 3)

2 単元について

(1) 生徒観

これまで生徒は、様々な言語活動を通して、主に自分自身や身の回りの日常的な話題について、英語で表現する力を高めてきた。特に、昨年度末に行った「夢」スピーチでは、全員が自分自身の好みや将来について追究し、文章構成や視覚資料を工夫した上で、聞き手を惹きつけるような発表を行うことができた。これにより英語で表現することに対する心理的ハードルが下がっただけでなく、相手が英語で表現している内容により興味・関心をもって聞こうとする生徒が増えた。この傾向は、今年度4月に実施した研究部の質問紙調査にも表れており、学習に対して内発的動機が強い傾向にあることや、自己主張ができること、相手を受容し共感的に接する態度が見られることは、本学級の強みと言える。

一方で、扱う題材の抽象度が上がり、主に社会的な話題について他教科の知識・技能や、教科横断的な見方・考え方を働かせる必要がある場面では、主に内容についての知識が不足する状況において、同質問紙の結果にも表れているように、プランニングや自己抑制（持続的対処・根気）の力の弱さが浮き彫りになる。また、前述したように、相手に対する受容や共感の態度は見られるものの、自分から相手に働きかけて人間関係を構築したり、集団に参画したりする主体的な態度も弱い傾向がある。

そこで、前述した課題の改善、克服を目指して、本単元のまとめとして、「戦争に関する物語を読んで感想文を書く」活動を行う。昨年度行った日常的な話題の学びを生かしながらも、学年が上がり義務教育修了まで1年を切った今、より抽象度の高い社会的な話題を通じた学びに挑戦し、生徒が主体的に他者や社会と関わっていく素地をつくることを目指したい。また、言語活動を繰り返す過程で、できるだけ多くの他者と関わる機会を意図的に設け、生徒自身が持っている外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方、さらには他教科の内容についての見識も広げたり、深めたりしながら、学びを豊かにすることを目指したい。単元の学習の見通しをもたせるだけでなく、適切な足場がけを行い、効果的な学習方略を経験させること、教科間の学びを繋ぐこと、様々な相手と関わらせる場面を意図的に設けることで、生徒の資質・能力を高めていきたいと考える。

(2) 教材観

本単元は、新『中学校学習指導要領解説外国語編』の目標「(5) 書くこと ウ 社会的な話題に関して聞いたり読んだりしたことについて、考えたことや感じたこと、その理由などを、簡単な語句や文を用いて書くことができるようにする」を中心としながら、他の領域の目標とも関連付け、複数の領域にまたがる統合的な言語活動を進めていくことができる単元である。

題材として、「広島原爆」が取り上げられており、登場人物が修学旅行先の原爆ドームや平和祈念資料館について話す場面と、被爆者である佐々木禎子さんの一生について書かれた物語を読む場面で構成されている。また、教科書全体を見渡すと、アメリカ公民権運動、マイケル・ジャクソンの”Heal the World”，スーダンの飢餓についてなど、単元を越えて何度も社会的な話題、特に「平和」について考える題材が設けられており、社会や世界に目を向ける入り口となる、3年時最初の単元と言える。

言語材料としては、call や make を含む第5文型と形式主語構文を学習する。表現する上で視点の変化をつけたり、抽象度の高い情報を述べたりすることが可能になり、より説得力のある表現が可能になる。既習表現と関連付けながら学習を進め、言語活動を通して適切に活用できるようにさせたい。現行の学習指導要領の課題としても挙げられている「言語材料について理解したり練習したりすること」に終始する言語活動ではなく、豊かな題材を通して「実際に英語を使用して互いの考えや気持ちを伝え合う」言語活動を展開したい。

(3) 教科研究との関わり

本校英語科では、全体研究主題「Society5.0を生き抜く『人間の強み』を育む学びの構想」のもと、教科研究主題を「互いの多様性を認め合い、共感的にコミュニケーションを図ることができる生徒の育成」と設定した。また、教科研究の3つの視点について、その手立てを5点掲げ、実践研究を進めていくこととした。

本単元では、単元のまとめの活動を、「戦争に関する物語を読んで感想を書く」と定める。テーマについて感想を書く上で必要な要素、視点について、ソフト面(=情報、内容)とハード面(=情報技術、言語)の両面から迫り、相手(対象)や題材、発信の方法など、生徒に達成を求める課題を具体的に設定した上で、実際のコミュニケーション場面に即した「見方・考え方」を働かせることができるようにしたい。

単元のまとめの活動に向かう過程では、手立て3「AARサイクルで学びを共有する単元シート」に示すように、単元のはじめ(A=Anticipation, 見通し)、途中(A=Action, 行動)、おわり(R=Reflection, 振り返り)の学びの姿を可視化し、題材(戦争)を学ぶ価値や、感想を書くための視点、表現に気付かせたい。また、単元シートの内容を他の生徒と共有することで、内容や言語(表現)の多様性を感じさせたい。

英語科では、手立て5「探究的な学習におけるソフト面・ハード面の吟味」にあるような「探究のサイクル」に則った授業づくりを意識している。「戦争に関する物語を読んで感想を書く」という単元目標に向けて大きなサイクルを回しながらも、延べ4種類の物語に類似のアプローチで取り混ぜることで、小さなサイクルを回し続ける。その都度スパイラルな振り返りを行い、徐々にソフト面、ハード面両方の「見方・考え方」を深化させていきたい。

単元のまとめの活動後には、単元後に繋がる大きな問いとして「自分にとっての平和とは何か」を投げかける。手立て1「複合シラバスによるカリキュラムデザイン」の延長として、本単元だけでなく年間を通じて「平和」について断続的に考え続けていく。その都度、自分自身を見つめ直したり、他者の発表や質問から新たな視点を学んだりすることが可能である。義務教育終了に向けて、自分の考えや気持ちをより精練し、内容のより豊かなコミュニケーションを共感的に図ることへと繋げていきたい。

3 単元の目標

戦争に関する物語の感想を交流するために、複数の物語を読んで概要を捉えるとともに、自分が選んだ物語について、自分が考えたことや感じたこと、その理由などを、簡単な語句や文を用いてまとまりのある文章で書くことができる。 【思考力・表現力・判断力等】

4 単元計画

(1) 評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> call や make を含む第5文型や形式主語構文の特徴やきまりを理解している。 戦争に関する物語の感想について、call や make を含む第5文型や形式主語構文などの簡単な語句や文を用いて書く技能を身に付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> 戦争に関する物語の感想を交流するために、自分が選んだ物語について、自分が考えたことや感じたこと、その理由などを、簡単な語句や文を用いてまとまりのある文章で書いている。 	<ul style="list-style-type: none"> 戦争に関する物語の感想を交流するために、自分が選んだ物語について、自分が考えたことや感じたこと、その理由などを、まとまりのある文章で書こうとしている。

(2) 指導と評価の計画

時	学習内容 ◆指導の留意点	関連する評価の観点			見とりの視点 【評価方法】
		知技	思考	態度	
事前	<ul style="list-style-type: none"> call や make を含む第5文型や形式主語構文の特徴やきまりを理解する。(※今年度は新型コロナウイルス感染症拡大による学習の遅れを防ぐため、前期学習範囲である Lesson1~4の言語材料について、指導を完了した上で単元を始めている。) 				習得を目指す言語材料を理解し、正しく使うことができているか。 【後日ペーパーテスト】
1	Lesson Goal: 戦争に関する物語を読んで感想を書く。 <ul style="list-style-type: none"> 本単元のゴールの活動を知る。 単元の学習の流れを確認し、個人目標を設定する。(単元ナビ) ◆単元を通してなりたい自分を想起させる。				

2 5 6	<ul style="list-style-type: none"> ①～④の戦争に関する物語について、個人で概要を把握する。 ①第2時 The Story of Sadako ②第3時 A Mother's Lullaby ③第4時 A Red Ribbon ④第5時 Faithful Elephants ◆初見読みは、分からない語句があっても辞書を使わずに、前後の文脈から推測し、自力で読ませる。 ◆一通り読み終えたら、知りたい語句を辞書で調べさせる。 ・全体で物語の概要を確認する。 ◆できるだけ日本語を介さず、生徒とのやり取りやキーワードの図示によって概要を理解させる。 ・物語の要約と感想を書く。 ◆感想を書く上での内容面、言語面の気付きや、よく書けている文章を共有して、個の学びを学級で広げたり深めたりできる。 ・単元シートに新たに得た気付きをメモする。 ・単元シートに個人目標の途中振り返りを記入する。 ◆気付きの視点について、全体で共有させる。 ・①～④のうち、どの物語について感想を書くか選択する。 				<p>自分が考えたことや感じたこと、その理由などを、簡単な語句や文を用いてまとまりのある文章を書くことができているか。</p> <p>【後日パフォーマンステスト】 【単元ナビ】</p>												
7 本時	<ul style="list-style-type: none"> ・第6時で選んだ物語について、感想を書く。 ◆単元シートを活用し、内容面、言語面ともに思考を整理させてから書かせる。 ・感想文をグループで回し読みする。 ・なぜその物語を選んだのか、グループで交流する。 ◆自他の視点の違いや多様な価値観に気付かせる。 ・単元シートに個人目標の途中振り返りを書く。 ◆「書くこと」のルーブリック（㊦ハード面、㊧ソフト面） <table border="1" data-bbox="226 1120 989 1355"> <thead> <tr> <th>評価の規準となる記述文</th> <th>視点</th> <th>Grade</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>物語の感想をまとまりのある文章で書くことができる。</td> <td>㊦段落構成</td> <td>ABC</td> </tr> <tr> <td>物語を読んで自分が考えたことや感じたことを書くことができる。</td> <td>㊦既習活用 ㊧感想意見</td> <td>ABC</td> </tr> <tr> <td>その物語を選んだ理由を書くことができる。</td> <td>㊦既習活用 ㊧理由根拠</td> <td>ABC</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> ◆2～5時を経て、内容面・言語面について十分な視点が得られた状態で、生徒と共に、パフォーマンス課題のルーブリックを作成する。（第6時） 	評価の規準となる記述文	視点	Grade	物語の感想をまとまりのある文章で書くことができる。	㊦段落構成	ABC	物語を読んで自分が考えたことや感じたことを書くことができる。	㊦既習活用 ㊧感想意見	ABC	その物語を選んだ理由を書くことができる。	㊦既習活用 ㊧理由根拠	ABC	○	○	○	<p>自分が考えたことや感じたこと、その理由などを、簡単な語句や文を用いてまとまりのある文章を書くことができているか。</p> <p>【パフォーマンステスト】 【単元ナビ】</p>
評価の規準となる記述文	視点	Grade															
物語の感想をまとまりのある文章で書くことができる。	㊦段落構成	ABC															
物語を読んで自分が考えたことや感じたことを書くことができる。	㊦既習活用 ㊧感想意見	ABC															
その物語を選んだ理由を書くことができる。	㊦既習活用 ㊧理由根拠	ABC															
8	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書題材以外の「平和」に関する資料を読んだり、情報を収集したりする。 ・感想文を推敲し、清書をする。 ◆グループ交流や調べ学習を通して、内容面や言語面を向上させる。 ・単元シートに「自分にとっての平和とは何か」について、現時点での考えを書く。 ・単元シートに、単元の個人目標の振り返りを書く。 	○	○	○	<p>自分が考えたことや感じたこと、その理由などを、簡単な語句や文を用いてまとまりのある文章を書くことができているか。</p> <p>【パフォーマンステスト】 【単元ナビ】</p>												
後日	<p><ペーパーテスト></p> <ul style="list-style-type: none"> ・初見の物語文を読み、要約文を書く問題 ・場面を与えて、適当な表現を書く問題 ◆理解を問う問題と技能を問う問題の両方に取り組みさせる。 	○			<p>習得を目指す言語材料を理解し、正しく使うことができているか。</p> <p>【ペーパーテスト】</p>												
事後	<ul style="list-style-type: none"> ・Lesson6 I Have a Dream ・Let's Listen6 英語の歌”Heal the World” ・Further Reading1 A Vulture and a Child ・「自分にとっての平和とは何か」その都度考えを書きためる。 																

5 本時について

(1) 主題

自分が最も印象に残った戦争に関する物語について感想を書く。

(2) 評価規準

戦争に関する物語の感想を交流するために、自分が選んだ物語について、自分が考えたことや感じたこと、その理由などを、簡単な語句や文を用いてまとまりのある文章で書くことができる。

【思考・判断・表現】【主体的に学習に取り組む態度】

(3) 授業構想

本時は Lesson4 のまとめの活動の時間にあたり、前時までに読んだ戦争に関わる四つの物語の中から一つを選び、感想文を書く。社会的な話題について、まとまりのある内容を書く力を段階的につけていくための1時間である。

導入では、単元の1時間目に立てた個人目標と、パフォーマンス課題について再確認する。また、物語の要約や感想を繰り返し書いてきた経験を活かし、本時の「書くこと」の活動に生かそうとする態度を確認した上で、感想文を書かせる。展開の前半では、個々で感想文を書かせる。今まで蓄積してきた内容面、言語面の気付き（＝見方・考え方の広がり）を生かしながら、構成を工夫し、自分の考えや想いや読み手に伝わるような文章を書かせる。後半では、書いた感想文を基に、グループで交流をする。その物語を選ぶに至った理由や、互いの考え方、価値観の多様さを感じながら、英語を用いたやり取りをさせたい。終結では、物語の感想文を書くことでできるようになったこと、次時に向けてさらにできるようになりたいこと（内容面、言語面）などを振り返った上で、次時の調べ学習、感想文の推敲に繋げたい。

(4) 本時の展開

段階	学習内容および学習活動 ・予想される生徒の反応等	時間 (分)	評価規準および評価 ・指導の留意点 ○評価
導入	<p><u>0 3分前学習</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・単元シートの蓄積や感想文の構想を再確認する。 <p><u>1 あいさつ</u></p> <p><u>2 課題、題材の確認</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・単元の最初に立てた個人目標、パフォーマンス課題について再確認する。 	5	<ul style="list-style-type: none"> ・今までの生徒の作文例や表現集も参考にさせる。
自分が最も印象に残った物語について感想を書こう。			
展開	<p><u>3 構想の交流と全体共有</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・どの物語の感想をどのような視点で書こうとしているのか、ペアでやり取りをしながら共有する。 ・全体共有をし、感想文を書く際の視点を増やす。 <p><u>4 感想文を書く</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分が選んだ物語について、感想文を書く。 ・ルーブリックに沿って、内容面、言語面の見方・考え方を働かせながら書く。 ・様子を観察して、途中で活動を止め、内容面、言語面の指導を適宜行う。 <p><u>5 感想文の交流</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ペアで感想文を回し読みする。 ・内容についてコメントを書いてアドバイスをする。 ・アドバイスを受けて、感想文の内容を練り直す。 	10 20	<ul style="list-style-type: none"> ・英語が苦手な生徒にとっての手助けにする。 ・交流を経て、読み手をより意識した感想文を書けるようにする。 <p>○自分が考えたことや感じたこと、その理由などを、簡単な語句や文を用いてまとまりのある文章で書いている。【思判表】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・英語が苦手な生徒にとっての手助けにする。
	<p><u>6 学びの振り返り</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・単元シートに、感想文を推敲し完成させるために必要な内容面、言語面のポイントを確認し、振り返る。 ・振り返りの内容について、全体で共有する。 <p><u>7 次時の見通し、あいさつ</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・辞書や資料、ネット検索等で調べ学習を行うこと、それを踏まえて感想文の推敲をすることを伝える。 	5	<p>○自分が考えたことや感じたこと、その理由などを、まとまりのある文章で書こうとしている。【態度】</p>
終結			